



写真は、文京支部第6回定期大会（2012.3.10）で挨拶する桐田委員長



発 行 編 教	行 集 育 宣	責 任 員 責 任 宣 伝	任 長 任 部
東 労 文	京 働 京	清 組 支	掃 合 部

2012年4月1日
第85号

10年ぶりの新規採用

今冬は例年になく寒さが長く続き、まだまだ桜も蕾を固く閉ざしたままですが、暦の上では春を迎え新しい年度が始まります。新たな仲間を迎える2012年度は文京支部にとって10年ぶりの新規採用による新たな仲間を迎える記念すべき年になりました。

労働条件改善求め闘う

私たちは東京都清掃局の時代から、清掃職場の厳しい作業環境や差別的な扱いに苦しみながら、清掃職場で働く者の生活と権利を守るために労働条件の改善を求めて闘ってきました。

2000年に清掃事業は東京都から23区に移管されましたが、この時期から自治体における行政改革の流れは加速し、職場自体が無くなるような厳しい委託化の動きが強くなりました。そうした中、私たちは自分たちの職場を守ることと同時に、環境行政の第一線で働く者として、循環型社会の形成に向けて責任ある清掃事業の運営を文京区当局に求めてきました。

粘り強い取り組みの3年間

特にこの3年間は、効率化の名のもとに安易に民間委託を推進しようとする文京区当局に対して、区民のための安心で安全な清掃事業を続けるためには文京区は直営で清掃事業を続ける意思を明確にするべきであり、そのための人員を補充するべきであると主張し、組織の全精力を傾注して闘ってきました。粘り強く様々な取り組みを行った結果、文京区当局はこうした私たちの主張を理解し、10年ぶりの新規採用が実現しました。

労働組合とともにスクラム

労働組合は労働者が働き続け、生活を続けるための組織です。そのために一人では弱い労働者がまとまって団結をし、要求をまとめて主張し、闘う組織です。東京清掃労働組合文京支部は「職場を守り、生活を守る」ことを基本として、そのうえで清掃事業を担う労働者として「責任ある清掃事業の運営」を追及しています。

4月からともに清掃の職場で働く新たな仲間の皆さん、この職場で働き続け、生活を守るために、東京清掃労働組合の組合員としてともにスクラムを組んでがんばっていきましょう。

【桐田達也執行委員長】